

退職者 NO.101-
こだま会報



憲法擁護・平和・脱原発 社会保障運動の前進へ

ご長寿おめでとう



今年の4月1日にスタートした「長寿祝い制度」。今年度の対象者は311人（4月1日現在80歳以上の会員）で、総会には最高齢の宮手多助さん（94歳・前列右から4人目）をはじめ10人の方々が参列されました。

目次

- ・総会報告……………①～⑤
- 第29回総会報告／加瀬代表挨拶／来賓挨拶／経過・決算・監査報告／方針／総会発言・答弁／役員／物故者名／神奈フィル争議
- ・せいかつ短信……………⑥～⑬
- ・「会員紹介」……………⑭
- ・お勧めの一冊／絵手紙／手作り文化祭／予告／タケちゃんの料理教室……………⑮
- ・こだま俳壇／葉膳料理……………⑯

神奈川県職労連退職者こだま会第29回定期総会(6/22)

高齢期運動をいっしょに強めよう

退職者こだま会は6月22日(土)、かながわ労働プラザ(石川町)で第29回定期総会を開催。50人余が参加し、新役員も決め、今年度の運動をスタートさせました。

午前10時、幹事の小島八重子さんの司会で開会。会員総数1352人、出席者50人、委任状511人で総会の成立(会員総数の3分の1)を確認しました。

続いて、この1年間に亡くなられた29人の会員の方々に黙とうをささげました。議長に石井紀男さんを選出し、議事に入りました。

開会にあたって、加瀬文隆代表幹事は、今年4月1日に

スタートした「長寿祝い制度」の該当者(今年は80歳以上・311人)に記念品を贈呈したことを報告し、総会に参加されている該当者10人を紹介。また、原発事故の現状と再稼働問題、憲法改正問題等にふれ、「高齢期運動をいっしょに強め、次の世代のためにも、連



携してがんばろう」と呼びかけました。

来賓には、神奈川県職労連副委員長の大矢武志さんや横浜市退職者会事務局長の高須昌和さん、県高齢期運動連絡会事務局長の塚原信介さん、中央労金横浜支店長の高橋恭一さん、神奈川県ユニオンアシランス代表取締役の畑喜代司さんが列席され、連帯のあいさつをいただきました。また、全労済神奈川県本部からはメッセージが寄せられました。

続いて、1号議案「2012年度経過報告及同決算報告」(鳥居伸太郎事務局長)、同監査報告(木村武子監査)、2号議案「2013年度活動方針案」(植木眞理子副代表幹事)、3号議案「2013年度予算案」(松尾佐知子幹事)、4号議案「規約改正について(案)」(酒井道生事務局長)、5号議案「13年度・14年度役員候補者案」(青沼慶祐副代表幹事)が提案され、討議のうえ、それぞれ大きな拍手で承認しました。

(2面に続く)

※会員の皆様へお願い…住所を変更された時は事務局までご一報を。

加瀬代表幹事の開会挨拶 (要旨)



代表幹事の
加瀬文隆さん

今年4月1日にスタートした「長寿祝い制度」の該当者311人(今年80歳以上)に記念品をお贈りしました。総会には10人の該当者が参加されています。皆さんのご

今年4月1日にスタートした「長寿祝い制度」の該当者311人(今年80歳以上)に記念品をお贈りしました。総会には10人の該当者が参加されています。皆さんのご

万人余が避難されています。汚染水も出続けているのに、政府はまるで事故などなかったかのようになっています。皆さんのご

つながりを大切に憲法・平和・社会保障運動の前進へ

長寿をお祝いし、これからは元気で長生きしていただきたいと思えます。まず第1に原発問題。原発事故で、いまだに15万人余が避難されています。汚染水も出続けているのに、政府はまるで事故などなかったかのようになっています。皆さんのご

この1年間、趣味の会やイベントなどを通じて、全国の仲間と連携し、憲法擁護の運動や平和、脱原発運動、社会保障の充実を求めるとりくみを進めていきたいと思います。

この1年間、趣味の会やイベントなどを通じて、全国の仲間と連携し、憲法擁護の運動や平和、脱原発運動、社会保障の充実を求めるとりくみを進めていきたいと思います。

(1面より続く)
参加者からは、地域で「年金削減反対」の署名運動をしていることや、「気が付いたら戦争をする国になっていたらなんてことになったら大変。できることをしよう」と憲法改正問題での発言。県政リストラでは、施設や生活保護受給者の県水道料金の見直しなど、「アンテナを相対高くはつていないと大変なことになる」。趣味の会の活動では、「身近なところでの歴史散歩や被災地1泊旅行



総会後の懇親会にて

を」などの発言が続き、議案を補強しました。それぞれの議案は、議論のうえ大きな拍手で承認されました。役員は、代表幹事に加瀬文隆さんをはじめ、今年度の運動をスタートさせました。総会後は、同ブラザ9階の「味彩」で軽食をとりながら懇親会。神奈川県



楽しく働ける
職場をめざして
神奈川県職労連副委員長
大矢武志さん

来賓あいさつ(要旨)

この4月から組合専従になり、職員の賃金・労働条件の向上をめざして奮闘しています。「物故者名簿」のなかに出身職場の先輩の方がおられ、残念な思いです。県政をめぐることは、緊急財政対策



平和憲法の大切さを
子どもたちへ
横浜市従退職者会事務局長
高須昌和さん

94歳になる会員もかくしゃくとした姿で参加されるなど、楽しく交流を深めました。等で、県組織の廃止や補助金カットなどが進められています。4%から6%の賃金カットのうえ、さらに国の削減方針がきまっています。組合は削減幅を圧縮させたが、不満も残っています。こうしたなかで、若い職員の組合加入などを進めています。OBの皆さんの知恵もお借りして、楽しく働ける職場づくりをめざしたい。

各議案の提案

●2012年度経過報告(鳥居事務局長)
文化・レク活動は、「小出川ミニハイキング」や「ありがとう大平壮」

「湯河原・幕山公園梅散歩」を実施。神奈川自治労連退職者会主催の「手作り文化祭」では、出品者・出品数とも昨年を上回りました。『会報』は今年の5月15日号で100号を達成、ホームページの改善も図りました。

高齢期運動や平和とくらし、民主主義を守るとりくみでは、各種集会、県職員九条の会のとりにくみに参加。県職労連公務一般労組神奈川ファイル分会への不当労働行為・解雇撤回問題では、「杉本さん・布施木さんの解雇を撤回させ、神奈フィルをよくする会」へ団体加盟し、諸行動に参加。「神奈川臨調」問題では学習会や『会報』でのアピール、署名などを行いました。

会員拡大では、昨年を上回る37人の新会員を迎え、会員数は1352人。「長寿祝い制度」が今年4月1日、スタートしました。

●2012年度決算報告(鳥居事務局長)



石井 紀男さん (総会議長)



鳥居 伸太郎さん (事務局長)



植木 眞理子さん (副代表幹事)



青沼 慶祐さん (副代表幹事)



酒井 道生さん (事務局次長)



松尾 佐知子さん (幹事)

収入の部は、年会費会員が83人、終身会員は37人が加入。支出の部は、収入の終身会費が予算額を12万5000円上回り、その分を積立金会計に繰り出しました。

●2012年度会計監査報告(木村監査)
帳簿等はしっかり管理され、適正に執行されていました。経費削減の努力も認められます。

●2013年度活動方針(植木副代表幹事)
政府は原発事故の深刻な実態を顧みず、原発再稼働やTPP、憲法「改正」を進めようとしています。また公務員の退職金削減に加え、地方交付税削減をテコに、この7月から国に準じた賃金カットを地方公務員に迫っています。県は昨年9月、緊急財政対策のもとに県有施設、補助金、人件費などを徹底的に見直しています。

こうしたなかで、保健・医療・福祉・年金制度の充実や消費税増税反対、TPP推進反対、脱原発などの国民的な課題では、学習会や署名運動などを全国の仲間とともにとりくみます。「県職員九条の会」等と連携し、憲法9条擁護・平和をめざす運動を進めます。会員の趣味を生かした活動、仲間づくりや交流の場を

設け、会員の経験と知恵を生かしたとりくみを進めます。

●規約改正(酒井事務局次長)
「第5条」(会員の資格)は、会員としての資格は死亡した本人の資格であり、配偶者が継承する理由がないこと。「第7条」(退会等)は、社会通念にのっとり改正。「第8条」(役員)・「9条」(役員の職務)は、現状に合わせて改正。「第13条」(幹事会)は、監査・相談役の職務を明確にしました。

●2013年度予算(松尾幹事)
収入・支出は、前年度の実績をベースに組みました。収入は、長寿祝い制度の費用100万円に一般会計経費25万円を加え、125万円を積立金会計から繰り入れました。

支出では、長寿祝い制度の費用311人分(4月1日現在80歳以上)と過年度慶弔金対象者分を想定して計上しました。予備費は県職労連規定(3~7%)を準用し約5%としました。

●2013年度・2014年度役員体制(青沼副代表幹事)
5ページ参照。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます (順不同)

草場 文雄 様 ?歳	庄司 タケヲ 様 92歳	掛場 徹夫 様 70歳	濱 利子 様 81歳
渋谷 五郎 様 74歳	佐藤 茂 様 68歳	秋元 勝 様 75歳	浅羽 晴夫 様 78歳
古藤 實 様 80歳	広田 宏 様 84歳	佐藤 康生 様 87歳	小林 泰夫 様 82歳
江原 陽子 様 73歳	福田 俊治 様 87歳	鈴木 守 様 79歳	小林 宏中 様 77歳
川辺 千秋 様 64歳	佐々木 皓二 様 67歳	司 茂 様 79歳	小林 英明 様 75歳
斉田 勝彦 様 67歳	村上 和子 様 69歳	吉原 重郎 様 87歳	
畑山 敏郎 様 85歳	山本 秋徳 様 86歳	夏目 邦夫 様 85歳	
有賀 勲 様 75歳	鈴木 修次 様 73歳	神山 キミコ 様 95歳	

2012年6月から2013年5月までにご連絡のあった方で、それ以前に亡くなられた方も含みます。

参加者の発言・意見



鈴木三郎さん

ひどいよ、年金削減

10月から年金支給が段階的に2・5%削減される。さらに、共済・厚生年金の統合で、年金も引き下げられるという。

これはひどい。国家的なサギだ。何ができるか、知恵を出し合おう。行政不服審査法での訴えもある。年金からの天引きが増えて、手取りがどんどん減っている。正月に足を骨折し「要支援2」になり、リハビリに通っている。安心して暮らしていけない。



湯川 勉さん

身近な地域の歴史散策を

被災地見学ツアーを期待する。「歴史教室」

では講師や世話人、会員の病気・健康問題があり停滞している。会員は20人くらいいる。

身近な地域の歴史散策や京都なども歩きたい。歴史に興味のある方ぜひご一報を。



川田勝利さん

総会を地域でも実施を

10年前に退職してすぐに「こだま会」に入り、

元氣をもらった。でも小田原や厚木から横浜に来るのはなかなか大変。数年に1回でもいいから総会を地域で実施してほしい。憲法改正問題が心配。「気が付いたら戦争できる国になっていた」なんてことになったら大変。できることをしたい。



大貫多喜子さん

東電横浜支社前で脱原発デモ

官邸前の脱原発デモが続いているが、私たちが

は東電横浜支社前行動を続けている。運動に参加を。『こだま会報』100号を記念して冊子にしたらどうか。神奈川県臨調で大平荘が廃止され、神奈川県自治会館も使えなくなつた。かながわ女性センターの縮小も

いわれている。女性センターは学習会でよく利用し、しかも低料金で宿泊できる貴重な施設だ。残してほしい。地域で年金の運動をしているが、女性の低年金は深刻だ。みんなで丸となって運動を進めていこう。



川井弘次さん

工夫して「年金相談」を

国は年金を年230万円まで下げるのがねらいだ。年金統合問題では、新聞やテレビはほとんど報道しない。このままでは、年金を削減される人が多数

で。政府は「自助」「互助」の名のもとに、社会保障推進法などで福祉破壊を進めている。「年金相談」など、工夫してとりくもう。



新倉仙太郎さん

関心高い年金問題

三浦海岸駅前で、「年金削減はやめてほしい」と宣伝や署名をしている。短時間で100筆から200筆も集まり、関心は高い。隣近所にも署名をお願いしている。できることで、運動に参加してがんばりましょう。

アンテナを高く張って



本山文子さん

県議会を傍聴した。県水道料金の生保受給者

や施設への減免を削減・廃止するなどがわかった。「規則」の改訂なので、県議会に諮らなくともできるようだ。県の出先機関廃止反対でも、とりくんできた。相当アンテナを高く張っていないと大変なことになる。

復興支援一泊旅行を



並木まり子さん

6月3日から10日までロシア旅行をした。6

月は白夜の季節で、夜は1時頃に暗くなる。男性の平均寿命は65歳位と

いわれている。しょっぱいものやカロリーが高いものを多く摂るためか、太った人が多かった。心臓に負担をかけている。日本は四季にめぐまれ、いまは高温多湿。水分をしっかりとりとって補給してほしい。東日本大震災支援では、一泊旅行などを企画したらどうだろう。



和多田 悟さん

憲法96条改正は相当危険

消費税率が上がって、年金は下がっていく。

高齢者など、とれるところからとっていく。私たちはガードを固め相当厳しい生活をする事になる。社会的に経済も回らなくなる。社会福祉に対する全面攻撃だ。静かな生活をしていきたいが、それぞれのところで運動をしていこう。憲法96条改正問題では改正手続きを総議員の3分の2から過半数に敷居を低くして、国民投票にかける案がでてくる。



懇親会で交流を深める

投票率のこともあるが、へたをするとう権者の15%ほどで改正されてしまう危険性もある。

発言・質問への回答

総会後の第1回幹事会(7月10日)での論議を経たものです。

●全体的に：9人の方からの熱のこもった発言に敬意を表したい。

●年金引き下げ反対運動：県職労連や高齢期運動など協力団体からの要請に基づき、できることをとりくみたい。『会報』への投稿も期待したい。

●脱原発運動：東電横浜支社前行動など、自主的な運動を応援したい。会員のとりくみを『会報』に投稿してもらおうことや、ホームページなどを通じて会員に知らせたい。

●「歴史教室」再開へのサポート：会の役員と連携し、再開へ向けサポートしていききたい。役員で興味のある人に参加してもらおうことや、講師の紹介などもサポートしたい。

●被災地1泊ツアー企画：実施する方向で計画したい。

●横浜以外での総会の開催：全県から参集する時間との関係で、横浜以外に適地があるか検討したうえで結論を出したい。

●年金相談体制：年金者組合などと連携し、相談体制の仕組み作りをしていきたい。

●『会報』100号記念の冊子作成：予算的にも困難。今年度予算化した合本作製で対応したい。

●2013・2014年度の役員紹介

(敬称略・役職別・50音順)

役職	氏名	主な担当
代表幹事	加瀬 文隆(現)	全体の統括・神奈川自治労連退職者会会長
副代表幹事	青沼 慶祐(現)	神奈川自治労連退職者会事務局次長
	植木眞理子(現)	健康教室
	山本 文子(現)	平和担当・食文化を楽しむ会
事務局長	鳥居伸太郎(現)	事務局の執行管理・会報編集委員・県高齢期運動連絡会幹事
事務局次長	小島八重子(新)	事務局(組織)・ホームページ担当・てくテクの会
	鳥海 敏雄(現)	事務局・会報編集責任者
幹事	秋中 一允(現)	事務局(組織・共済)
	虻川 弘子(現)	会報編集委員
	飯塚 武弘(現)	会報編集委員・料理教室
	一杉 雄二(現)	文化・レク
	稲本 春雄(現)	文化・レク
	井村 友彦(現)	こだま句会・農業を楽しむ会
	酒井 道生(現)	事務局(会計)・神奈川自治労連退職者会会計監査
	高木 信幸(現)	ホームページ担当
	友井 眞言(新)	文化・レク・てくテクの会
	仲戸川 実(新)	文化・レク・料理教室
	並木まり子(新)	文化・レク・健康教室・共済
	松尾佐知子(現)	事務局(会計)
	本山 文子(現)	文化・レク
	山本 裕(現)	文化・レク・神奈川自治労連退職者会幹事
監査	岩柳 良雄(新)	
	谷村 寛(新)	
相談役	加藤 利秋(現)	全国自治労連退職者連絡会事務局次長
会報編集委員	新井 通子・木村 武子	

●退任された役員・相談役(敬称略)

幹事	川瀬 秀雄・平岡 孝弥・松本 正治
監査	木村 武子・辻村 博
相談役	生方武羅夫



第2部の記念コンサートでは会場が「神奈川フィル分会合奏団」の音色に包まれました(6月25日)

神奈川フィル争議の勝利へ —素晴らしい演奏に魅せられ—

第2回総会

昨年4月に、神奈フィルの杉本さんと布施木さんが不当解雇され、同年7月、「杉本さん・布施木さんの解雇を撤回させ神奈フィルを良くする会」が結成されました。お二人は、県内をはじめ各都県での訴えや演奏活動などを続け、会員は900人を超え、運動が広がってきました。今年6月25日の夜、保土ヶ谷公会堂で第2回総会が開かれ、こだま会から8人以上、全体で約100人が

が参加し、争議の勝利へむけ意思統一しました。第2部のコンサートは、午後7時15分に開演。このコンサート(組合員が出演)は、何とも言えず感動的で、トランペット・チェロ・フルーオラの演奏が楽しめました。心のもった素晴らしい音楽を楽しませていただき、帰りには「それに値する額を」と有り金をはたいてカンパ袋に入れ、豊かな気持ちで帰りました。お二人の争議の全面勝利に向けて、みんなで力を合わせて頑張りましょう。(虻川弘子)

定期総会への出欠はがきに寄せられた「短信」をお届けします。掲載者は、これまでで最高の201人。「こだま会」への要望をはじめ、元気でお勤めの方やボランティアに励む方、ゆったりと生活を楽しむ方など、本当に喜ばしい限りです。地域での高齢期運動や「九条の会」等での活躍の方、闘病中の方も見られます。紙面の都合で「幹事の皆様、ご苦労様」「総会の成功を」などの趣旨は、割愛させて頂きました。また文意を損ねない範囲で、一部省略させて頂きました。(順不同・敬称略)



清水敬一(横浜)「長寿祝い」、
 ありがとうございます。最近はこちらの不調が、モグラ叩きのように出没し、それに対応するだけで、いのちのローソクが短くなっていく感じで残念です。今の夢は80歳でエベレスト登山を決行した人に負けじと、好きだった登山の最初の山、高尾山を目ざしていることです。
 川村キサ(横浜)「長寿祝い」を頂き本当にありがとうございます。『会報』は楽しみに読ませていただいています。私も80歳の坂半ばになり、ケア・プラザの体操、その他老人向けの行事に参加しています。その他は庭の草取り、花の手入れなど家まわりのことなどを日課に過しています。
 牧村正敏(平塚) 江戸時代後期の古文書講読を中心に勉強するサークルに週1回通っています。机にむかってばかりではよくないので、ストレッチ体操に参加したところ、男は10人足らずで、残りの90人ほどは女性ばかり、恐怖を感じました。なお、夜中は「ラジオ深夜便」を聞いております。
 鈴木公彦(横須賀) この度、お心尽しの「長寿祝い」受領致しました。誠に有難うございます。2月に82歳を迎えましたが、おかげさまで元気です。「歴史教室」が休会となり残念です。
 鈴木志げ子(鎌倉) 「長寿のお祝い」をいただき有難うございました。いつのまにか80歳を越え、80歳も後

半になりました。あつと言う間に時が過ぎていきますが、健康で若い人からも慕われる老人でいたいと思う日々です。明るく前向きに毎日を過ごしたいと思っています。足はほとんどと歩けません、リハビリに頑張っています。『こだま会報』を楽しみにしています。
 佐藤 肇(厚木) 長寿の祝い品をいただき有難うございます。昭和3年生れ、85歳になりました。日頃ウォーキングを5000歩から8000歩位励んでおります。地区の人たちとターゲット・バード・ゴルフ、カラオケにと楽しい一時をすごしております。これからも体調に気を付けて頑張つて行きます。
 安藤 慧(寒川) 「憲法改正」は反対、現行のままですよと考えています。「従軍慰安婦問題」や「侵略見直し論」など、今話題になっていることの真相、(本当の事、真実)を知りたいと思っています。だから「平和のつどい」など参加できるといいのですが、それも体調次第というのが困ります。
 中澤祥浩(横浜) 家内を亡くして力が萎え、趣味一切止めております。老化現象ですね。「長寿祝い」、有難うございます。
 田中和子(秦野) 高齢になって坂道や階段がつからなくなって、とうとう85歳から杖を使うようになり、転ばぬ先の杖で仕方ないと自分自身に言い訳しながらの外歩きです。同年齢で認知症や寝たきり介護を受け

ている人のことを思えば、幸せに思うこの頃です。
 小林滋樹(厚木) 住居の近くにある専門学校で、公衆衛生学の講師を週2回(半日位づつ)やっています。近所の高齢者と週に3日グラウンドゴルフを楽しんでいます。この度は会のお心づかいの「長寿お祝い」をいただき、本当にありがとうございます。
 戸村五郎(大磯) 「長寿のお祝い」を頂きまして、心から御礼申し上げます。今のところ、どこがどういふこともなく、町内のことなどをしていきますが、暑さ寒さには気を付けております。
 中村みき(横浜) こだま会の行事に出席したいのですが、私も85歳になり、いまだに働いています。パパートで月10日位です。いろいろ家庭に問題を抱え誰に相談する人もなく、主人が他界してからは私一人に問題がかかり、大変な毎日です。昔から電話も切られ、やむを得ず、携帯に入りましたが、うまくできません。年齢的に無理です。
 穂坂輝夫(小田原) 平成25年3月21日より山近記念総合病院に入院して、現在に到ります。立ち上がる事ができず、現在は寝たきりの状態です。ご協力もできません失礼致します。
 日比野貞美(川崎) 「長寿のお祝い」、ありがとうございます。『会報』100号読ませて頂きました。『会報』が、時代の流れに機敏に応じ、会員

の動向に気配りし、部活の紹介、厚生面の情報から社会の動きに注意を喚起するなど『会報』の発展と充実ぶりがよくわかります。文章をまとめた木村武子さんに拍手を送ります。県職労連の動きなど、現職の方の生の声もちよっぴり入れて頂けるとういがあると思います。役員の方々の努力を多しつづつ、できればとお願いです。加藤周一さんが晩年「老人と若人のコミュニケーションが必要」とよく発言されていました。私は総会には足が不自由で欠席します。宮手多助さんに笑われますね。

加藤利秋(伊勢原) このたびは「長寿の祝い」、本当にありがとうございます。80歳5カ月。地域での自治会役員や老人会の会計などで、認知症の心配のない毎日を送っています。

三枝智子(横浜) 再任用(ひばりが丘学園)の仕事にも少しずつ慣れて来たところです。再任用職場は一度決められたら、年度で変えることはできないのでしょうか。

七宮 清(厚木) 現在のサークルの数は少ないと思います。もう少し増やしてみたらどうでしょうか。

足立君代(横浜) 「料理教室」の紹介を見るのが楽しみです。7月の料理教室に参加をしたいと思っています。

浅井照明(伊勢原) 株のデイトレードで頭の体操充分です。アベノミクスで日本が住みやすくなることを祈ります。

高橋精治(秦野) 民生委員として6年目になり、秦野市民見協の広

報部長として広報紙作りに専念しています。60年前の石油発動機を整備、運転して楽しんでいきます。

田島 稔(相模原) 『こだま会報』100号、おめでとうございます。小生71歳にてまだまだ若いものに負けず、趣味のへらぶな釣りやボラントイア活動をしております。

穴戸晏代(川崎) 『会報』100号おめでとうございます。毎号楽しく読ませて頂いております。知っている方のお名前を紙面で見つけると「元気でいらっしやるのだな」と嬉しく思います。趣味の合唱や書道会等、地域で忙しく動いています。短歌の学習会から立ち上げた「万葉九条の会」に所属し、今年も11月に文化の集いを開催します。体力は年相応になっていますが、何とか頑張つて生きています。



村崎亮一(横浜) 私は、法律学の書籍を若干所持し、勉強も少ししているところだ。今、安倍政権が憲法改定をめざしているらしい。それをされると私の所持する憲法関連の書を買替えなければならなくなる。1冊3000円から6000円になる

ものを買替える余裕はない。憲法改定に反対する。

佐藤隆夫(二宮) 毎日元気でやっています。長寿のお祝いの品を頂きありがとうございます。

杉本明子(横浜) 皆少しずつ年を重ねて行くなか、連携できる仲間があるということはありがたいこと。今後ともよろしくお願い致します。

石井紀男(横浜) 趣味の会ほか

日常生活に参加できなくて、申し訳ありません。総会だけは参加させていただきます。

中村貞雄(横浜) 相変わらずの日々を過しています。

藤原 稔(川崎) 毎日が日曜日です。楽しく過ごそうとすると金がかかります。世の中は金しいです。

懇親会で

吉谷英子(相模原) 『こだま会報』、いつもありがとうございます。

木寺幸雄(横浜) 公務員を退官して16年5カ月を経過。元気に日々を過しています。週に2〜3回ジョギング、

月3回(毎週水曜日) 太極拳、週2回(火・金曜日) ゲートボール、グラウンドゴルフなどを練習しています。

塩原國雄(横浜) 元気に過しております。

太田 顕(相模原) 5月1日、「第84回相模地域メーデー」に参加した。会場の富士見中央公園には、「北相支部」旗に代わって「県央支部」旗がはためいていた。「北相支部伝

説の人」A氏と「北相支部マドンナ」のM女史が迎えてくれた。もつと多くの現役並びにOB、OGの方々に会いました。年1回、お二人に会えて話が出来たことは大満足。来年も参加したい。また、現役

当時から参加した地元「相模湖・ダム追悼会」は今年で35回目となり、当時の「北相支部」と「津久井やまゆり園分会」の物心両面の、長年の

変わらぬご支援とご協力に、実行委員として深謝の限りです。

小山田洋志(秦野) 元気で多忙な日々を送っています。

戸塚 忠(静岡県三島市) 東彦の春一番の風が吹きや、株高、円安、物価高、安倍のミソクソ按配悪い

⑦アベコペだ ⑧ベースアップは⑨ノーだって ⑩皆の ⑪暮らしては

⑫素寒貧 年金暮らしは冬の空

米持 汎(秦野) 野鳥を観るため、全国(大げさ)を旅しています。

鹿郷真弘(小田原) 後期高齢者の仲間に入りました。知人、友人からのご訃報のしらせを受け、このところ一抹の寂しさが身にしみて感じ

ます。日常の食生活を通じて、健康であるありがたさに感謝していま

す。詩吟の大会が6月、10月、11月とあるので、出吟しております。

鈴木恵美子(横浜) 今年の3月

で、県職員として40年、定年退職となりましたが、根が貧乏性なので、

同じ職場で再任用され働いています。今回、『こだま会報』に懐かしい方たちの名前を見つけて喜んでお

ります。

岩柳良雄(横浜) 非常勤を退職して、4月から毎日が日曜日になりました。コミュニティの囲碁と水彩画教室に通い、たまには孫の子守をして忙しくしています。

小出晴美(横浜) 『こだま会報』をいつも楽しみに読ませていただいています。100号記念の特集は、これまでの歴史が分かり、とても心強く、改めてありがたいと感謝いたします。農業普及員時代からの思いで「食・農・健神奈川会議」の活動を続けています。今はT.P.P.が正念場で、ミニ学習会や署名活動などにがんばっています。合間にフラを楽しみながら。

小野寺トシ子(箱根) いつも『会報』等、ありがとうございます。楽しく読んでいます。

小越信子(横浜) マッカーサーに変えられてしまった日本人、衣食住の西欧化、病気も増えてきた。母たちは現金収入を得るために働いている。添加物だらけの食がふえ、子どもたちは目的のないまま塾に行き、大学を卒業してひきこもりが増えた。食は大切です。母の愛の入った家庭料理、肉はいらぬ、手のひら大までのお魚、玄米とみそ汁、海草の昔の生活に戻すべきです。無農薬野菜をたべましょう。

大野秀夫(横浜) 地元の人々の活動に、長年とりくんでいます。

松村美知子(大分県日出町) 77歳になりました。何とか元気に暮ら

しております。ユーターンをして12年になりました。

小友隆男(横浜) こだま会の継続を願っています。

戸田晴美(川崎) 今年も大変な一年です。1月、母の入退院、私の右手首骨折、リハビリと忙しい毎日です。自費でヘルパーを依頼しながら介護保険申請中。やっとなが書けるようになりました。

田中 譲(福岡県小郡市) 『会報』100号記念、おめでとございます。『会報』が届く毎に横浜の香りも届いて、楽しみにしています。県を退職して22年になり、現在はシルバー人材センターへ登録し、月2回、地元市の公報配布をしています。いよいよ年金生活突入となりました。

菊田 勲(藤沢) ジョギングを続けています。県職労マラソン大会「ヘルシーアンドファミリー」が懐かしく思い出されます。いまだに大会参加賞のシャツを愛用しています。島田多嘉子(横浜) 私はいま、「こだま句会」のメンバーの一人として頑張っています。

阿部毅正(横浜) 一年経つのが早くなっています。会社、学校、地域のこと、できる時にできることをと思っています。頭が回らなくなったら辞めます。そろそろかもしれません。

益川和也(秦野) 「長寿祝い」、ありがとうございます。

伊藤敏昭(茅ヶ崎) 80歳のお祝いをして頂き、有難うございました。主人は2年半前から体調を悪くしま

して、一人で歩くことができせん。字を書くこともできません。(代筆:家内)

吉田綾子(逗子) 古希をすぎて、そろそろ静かな老後を考えなければならぬはずですが、相変わらず毎日東奔西走しています。これもまた健康でいる幸せの因かもね。

大石勝彦(静岡県伊豆市) 相変わらず、忙しくしています。

小島 工(東京都武蔵野市) 散歩に読書、パソコンで毎日元気に過しております。

大林恒四郎(藤沢) 「長寿の祝い」、お贈りいただき有難うございました。有難く頂戴いたします。年相応に何とか元気に過しています。御嶽典文(湯河原) 「長寿祝い」、有難う存じました。

上野文雄(横浜) 4月28日の主催回復反対集会(沖繩)に参加しました。その時、沖繩県職退職者会の二人と話をしました。本土(ヤマトンチュー)の人が沖繩の現況を知って欲しいと言っていました。

宮澤恭子(茅ヶ崎) いま、憲法96条を変えることを突破口に、改憲策動を安倍内閣は強めています。もと憲法は、権力者が暴走しないように改憲のハードルを高くしているもの。世界の多くの国々も同様。個人の尊厳と男女平等のためにも、現行憲法を守り発展させることに力を注ぎたいと思っています。

木村 昇(埼玉県久喜市) 消費税増税・配当金等に軽減税率廃止を乗り切るため、NISA(ニーサ)

小額投資非課税制度)のセミナーに通っています。

金原健一(相模原) トンビにカラスが大空で今日もケンカして、それをみながら土づくり。

増子忠治(平塚) 森林インストラクターで、水源の森づくりをしています。最近めっきり体力が減退しました。でも、学校から依頼がある自然観察は、楽しくてたまりません。

植木政光(気まぐれ工芸家(秦野)) 私が若い頃、加瀬さん方との組合活動の思い出が残っています。退職後、計画どおり「ものづくり家」に挑戦して、あっちこちのギャラリーで作品展を開催しています。いつか『会報』の記事で紹介して頂ければ嬉しいです。

大須賀 力(秦野) 相変わらず短大の非常勤講師(児童関係を継続、研究会で出会った仲間と年何回か会って、情報を得たり各地を巡ったりして楽しんでます。児童相談所の職員に、以前のようなじつくりとケースワークできる人が少なくなり、一方で問題が複雑化している矛盾に直面し、施設に入所した児童の声を大きく役割を続けていきたいと考えています。児童養護施設の入所児が短大とか四大に進学できるように、以前より自立支援のあり方が児童の要求にそって来たこと、退所後の孤立児を補う意味で仲間づくりが進行していることが朗報です。小林文夫(茅ヶ崎) 80歳。歳相応に元気です。まだ頑張ります。

張戸寿典(寒川) 退職から5年が過ぎましたが、健康を維持できるように、毎月1〜2回の山歩き(最近は登山でなく歩くように)と、海での船釣りを続けています。終息が見えない原発事故、多くの避難者がいまだ大変な生活を送っています。長男家族は子どもの放射線被曝を心配して、横浜から愛知県に転居し、3歳になった孫にも年数回会いに行く状態です。

新倉仙太郎(三浦) こだま会「歴史教室」世話人の佐藤喜治さんが体調をくずし、企画ができないとの連絡を受けてから半年位が経ちます。毎回、勉強になることが多く、残念でなりません。早く体調が元のようになって一緒に歩きたいです。

仲戸川 実(藤沢) 相変わらず週1回程度の本庁支部の朝ピラ配布に協力しています。月1〜2回のパードウオッチング、月2回の海釣り、ペランダと庭を使った家庭菜園を楽しんでいます。

鳥居千珠子(東京都大田区) 同居していた孫たち一家が近くのマンションに引っ越しましたが、相変わらず幼稚園に迎えに行き、夜8時頃親を迎えに来るまでに、入浴と夕食をすませて送り出します。このような援助がないと若い人たちの生活も回っていきません。都議選と参院選が間近になりました。「九条の会」の活動も頑張らないと、未来に悔いを残すと思っています。

齋藤孝治(横須賀) 健康と体力作

りのため、家庭菜園で50種の野菜作りをやっています。先週は空豆10kg、ジャガイモ40kg収穫しました。新しい野菜はビートとパクチを作りました。川井弘次(厚木) 組合活動40年、民生委員9年、鹵検定所同窓会、年金者組合の25年の歴史などなどまとめていますが、なかなか終りません。大貫多喜子(横浜) 『会報』100号おめでとうございます。いよいよ2・5%の年金切り下げが10月から始まります。力を合わせて頑張りましょう。

田野倉一夫(相模原) ただ馬齢を重ねただけなのに、長寿祝いをいただき恐縮に存じます。これからは何か生きる喜びを見つけて過ごしたいと思います。

宮下 光(横浜) 年金は減らされるうえに、天引きされるものが増えつぎと増えて、手取りは減るばかり。毎日、忙しくしています。

小宮福太郎(二宮) 「長寿祝い」をいただきありがとうございます。これからも健康に留意して元気にすごして参ります。

石井 明(藤沢) 「長寿祝い」と懇親会への招待、ありがとうございます。体調不良で欠席しますが、お許しください。

片野憲二(小田原) 4月20日から29日まで、NPT第2回準備委員会要請代表団(日本原水協17人)の一員として、スイスのジュネーブ(国連)へ行ってきました。会議議長と国連軍縮問題担当上級代表に267万筆

余の「核兵器全面禁止のアピール」署名を提出し、核保有国など17カ国の政府代表に申し入れました。また核兵器の非人道性の流れが大きくなるなかで行った原爆展・被爆の証言は、政府・NGO代表や学生など大勢の方の注目をあび、署名も518筆集まりました。残念な事がひとつ。共同声明「…いかなる状況化で



神奈川フィル争議支援ミニコンサート (総会後の懇親会で)

も核兵器が二度と使われないことは、人類生存の利益」を80カ国が署名しましたが、日本は賛同を拒否。被爆者やさまざまな団体が抗議の声をあげました。日本の政府を変えねば。

矢澤昭二(逗子) 「長寿のお祝い」、有り難うございます。私、年相応に元気ですが、検査入院など心配事が多い昨今です。

森 マサエ(横浜) 「長寿祝い」、ありがとうございます。阿部 豊(相模原) 自治体や大

学の生涯学習講座の受講、家庭菜園、ハイキングで知力・体力の維持を図りつつ、県職労県央支部や地域の「九条の会」のお手伝いをしています。土田正尚(藤沢) 「長寿祝い」をありがとうございます。年齢相応に元気で、趣味のガーデニングや野菜づくりなどをして楽しんでいます。

小針 光(横浜) 「長寿お祝い」、ありがとうございます。いつも『会報』を楽しみに見えています。

榎本勝雄(藤沢) 私は相変わらず団体の運営と毎日1時間位のトレーニングと、歌のレッスンで元気に頑張っております。

湯尾正文(横浜) 「長寿の祝い」をいただき、ありがとうございます。心からお礼申し上げます。こだま会には何の貢献もしていません、本当に恐縮しています。

叶井進一(横浜) 歳を重ねても人は老いない。希望を失う時、人は老いが始まる。子どもの時から土いじりが好きでした。80歳をすぎても土いじりに励んでいます。果樹・野菜など種類を広げています。楽しいことに集中して、健康に暮らしています。こだま会の集いに出かけるのを楽しみにしています。

青山孝慈(藤沢) 身体が弱まり、特に目が不具合になりました。最後のご挨拶と存じ、総会に参上します。本山文子(横浜) 『会報』100号、おめでとうございます。楽しみに読ませて頂いています。編集委員の皆様、本当にご苦労さまでした。

笈川和男(横浜) 時間をつくって、全国の鉄道を乗り直しています。この2年間で、JR北海道全線、東日本はほとんど。名古屋鉄道、阪神、阪急、神戸電鉄など、全線乗りました。

小山直次(相模原) いつも『会報』ありがとうございます。昨年の9月に、50年ぶりに体調を崩し、1カ月ほど入院しました。病名は带状疱疹。現在、左足に若干の後遺症がありますが、元気で過ごしています。

小島八重子(寒川) 完全退職後、3年目になります。やっと年金生活に慣れてきました。
荒井八重子(横浜) 「長寿祝い」、感謝します。

大津恵美子(相模原) 長寿記念品をいただきありがとうございます。1月から体調を崩し、転院を繰り返していましたが、やっと落ち着いていた暮らしができるようになります。皆様も御身大切に。

植木眞理子(横浜) こだま会にはまだ早いと思いつながら、早2年。諸先輩のパワーと元氣印に圧倒されています。介護、病院しか知らない私には新鮮。改めて県職員、県職労連の仕事、それぞれの人の知恵、知識に学ぶことばかりです。県政の場だけでなく、それぞれ皆さんの地域でのさまざまな活躍にびっくり。私はいま車の保険の代理店(関東共済)で悪戦苦闘。医療現場に足も運んでいますよ。総会の時はロシア旅行から帰ってきている予定です。
宮崎 滋(横須賀) 思いがけず、

「長寿祝い」をいただき、驚き、また恐縮しています。振り返ると、定年から22年が過ぎました。この間、妻との死別、私の2カ月に及ぶ入院などがありました。現在は健康で82歳のいま、自治会の役員をしており、週2、3回、近隣の友人とテニスを楽しんでいます。

伊藤りつ子(横浜) 「遊び3分、活動7分」の年金の会で楽しくやっています。

白石 清(横浜) 「長寿祝い制度」によるお祝いを頂戴いたし、ありがとうございます。総会後に懇親会にご招待とのことですが、現状は種々病に侵され、週2回、それぞれの専門医に経過観察として、家内の付き添いで通院しています。勝手に申しわけございませぬが、外に出歩くのは控えさせていただきます。

櫻井哲雄(平塚) 「長寿祝い」をいただき感謝しております。いつのまにやら八十路に入り、体力の衰えと脚弱を抱えながら、わずかな菜園を楽しみながら過ごしています。

岩井秀子(横須賀) お世話になっております。「長寿祝い」、ありがとうございます。

磯部 實(横浜) こだま会の長寿を願います。私もなんとかやっていきます。

川田勝利(横浜) 『こだま会報』を毎号楽しく読んでいます。先輩、関係者の努力により100号に達したこと、ありがとうございます。「歴史教室」の再開、待っています。

後藤貞夫(横浜) 横浜市が行っている耐震工事を申請して1年以上かかっている。この4月から5月の2カ月間、工事を行いました。部屋を移動しながらの2カ月は結構疲れました。また敷地の一部が道路としてとられたようで、へんな具合ですね。

瀬戸嘉祐(山北) 「長寿祝い」、頂戴しました。ありがとうございます。退職後25年、毎年会員の便りが懐かしく、時に感銘すること多びたびです。今後とも諸兄の声を聞きながら、残りの人生を楽しませていただきます。

近田泰夫(鎌倉) 月1回、内科へ通い、週2回アルコールをやめるように指示されていますが、実行はできません。

宮手多助(藤沢) 小生のような「超老爺」が会員にいつまでも居座ることは、経費の無駄使いとは思いますが、もうしばらく会員に留めてください。7月1日で94歳多謝多謝。添田よし子(横浜) 「長寿祝い」を誠にありがとうございます。母・よし子は施設で元気にしています。91歳になりました。足腰が悪くなり外出がままならなくなり、会合には出席できなくなりました(長女代筆)。

朝日信義(真鶴) 現在、介護の施設にご厄介になっています。このたびは「長寿祝い」までいただき、誠に感謝申し上げます。

鈴木陽子(横浜) 古希を過ぎ、元気にすごしています。「健康に」が一番いいと感じているこの頃です。

玉井アツ(相模原) 定年から10年がすぎ、毎日が感謝です。週2回、ボランティアに行っています。また貸農園も楽しんでいます。いまの毎日が「幸」です。みなさん、お元気でネ。

阿部六郎(厚木) 趣味と実益を兼ねて、シルバー人材センターで活動しています。

六澤光次(小田原) いたって元気に日々を過ごしています。このたびは「長寿祝い」、ありがとうございます。

内藤光夫(横浜) 健康を第一に、日々平穩に暮らしています。ストレッチ体操や旅行等をして、体力保持に努めています。

市川 清(大和) 薬を飲みながら、自分のことは自分ででき、地元自治会の環境対策のお手伝いをしています。このたびは長寿のお祝いをいただき、心からお礼を申し上げます。こだま会のご厚意に感謝しながら、有意義に使わせていただきます。

芝 忠(横浜) 昨年初めて総会に参加しましたが、大変にぎやかで良かったと思います。今年も自分の総会のため欠席させていただきます。

遠山 淳(千葉県茂原市) 硬膜下血腫のため生まれて初めて入院しました。身体の不調には早めに点検が肝要と知らされました。長寿祝い、ありがとうございます。

平能芳子(横浜) このたびは「長寿祝い」を頂戴し、ありがとうございます。尾田喜作(横浜) 「長寿祝い」をいただき、ありがとうございます。

皆様のご健康をお祈りいたします。鈴木 薫(南足柄) 「長寿祝い」、ありがとうございました。

荒尾英正(相模原) 退職して4半世紀。年齢相応に元気で、花づくり、自家野菜づくりを楽しんでいます。好きな旅行・宴会等は自粛しており、月1回、定期的に病院通い(心臓疾患)しています。「長寿祝い」、ありがとうございました。

大川照雄(藤沢) 「祝長寿」としての贈物、ありがとうございました。辻本 操(東京都世田谷区) 内臓を悪くし、国立病院に4週間ほど入院し、退院したばかりなので「今浦島」のような気持ちです。なんとって健康が大事だと痛感しました。「長寿の祝い」、ありがとうございました。

横山善助(横浜) 呼べば応える山のこだまの嬉しさよーこだま会の「こだま」はここから生まれたのです。わたくしも90歳になりました。長寿のお祝いを贈っていただきありがとうございます。膝痛のため、歩行できません。皆様とお会いできず残念です。早く治してお会いできる日を楽しみに頑張ります。

遠藤正子(綾瀬) 地域での大豆、味噌づくりは15年。絵と環境の会にも参加しています。足の痛み等々医者通いも多い日々。80の「長寿祝い」、恐縮です。ありがとうございました。保土田政子(横浜) 『会報』100号達成おめでとう。神奈川県調に開かる図書館廃止問題では、みなさまのおかげでストップできました。改

めて御礼申し上げます。5月末から6月初めの3日間、県民の声を聞く会が持たれました。県立図書館として発展させるといふより、企業のための図書館にとつて必要とされる資料に縮小する傾向もあり、目が離せません。湊 ふみ(横須賀) 『こだま会報』他のお知らせをいただき、ありがとうございます。このたびは思いがけない「長寿祝い」をいただき、ありがとうございました。退職後30年たち、当時、楽しかった元気だったことを一人、思い浮かべています。渡辺雄之介(平塚) 加齢とともにスピードも落ち、疲労もなかなか抜けませんが、生涯現役マラソンランナーをめざし続けます。安田早美(藤沢) 『こだま会報』100号特集を感慨深い思いで読みました。手帳の年齢早見表に「1985年 専売・電々公社民営化」と記されています。山田経行(横須賀) 昨年は旧東海道を述べ25日かけて歩きました。今年には旧中山道の完歩に挑戦していきます。増村一夫(千葉県大網白里市) 『こだま会報』100号記念発行おめでとうございます。創刊からの会報づくりを拝読し、会員の宛名書きやシール作成、せいかつ短信の活字化作業など、ご苦勞を初めて知ることができました。小生は今年の5月1日から、胆のう、胆石手術で9日間入院し、現在はまだ休養中。初めての手術入院から、健康の大切さや、

高額医療費制度のありがたさがよくわかりました。

山本英忠(藤沢) 「長寿祝い」をありがとうございました。おかげさまで生きていますが、遠出、夜間の外出は控えています。

本間 昭(小田原) 「長寿お祝い」をどうもありがとうございました。有効に使わせていただきます。

小川達子(横浜) 「長寿のお祝い」、ありがとうございました。相変わらず元気で忙しく暮らしています。天羽忠子(寒川) 「長寿お祝い」をいただき、ありがとうございました。心から健康でいられることに感謝しています。振り返ってみるに、退職してからのの方が元気で、趣味に明け暮れていて、今回特に、幸せを感じています。現在も特に不自由なところがなく、旅行もスポーツ(グランドゴルフ・ペタンク)等も楽しんでいきます。ただ一つ、ハイキングや山に行くのは、上りのあるのがだめです。これは残念です。

河野宗昭(海老名) 思ってもみなかった「長寿祝い」にびっくりしました。退職して早25年、ありがとうございました。老いてはいますが、意識はボケていません。

小山武衛士(厚木) 『会報』100号おめでとうございます。毎号楽しく読ませていただき、また今回は「長寿祝い」までいただきありがとうございました。3月に八十路の坂を越えたとたんに、自転車で転んで、右すねにコブをつくってしまいました。

た。それが治ったと思ったら、今度は膝痛(変形性膝関節症)で、クリニク通いです。痛みは薄れてきたので、今年も何とか世界エスプレラント大会(アイスランド)に出かけようと思っています。

三橋ヤスエ(東京都町田市) 「長寿祝い」を有り難うございました。こだま会の発展をお祈り申し上げます。

橋川順一(平塚) 『会報』を毎号楽しく拝見しています。以前、発会以来の会員で、元北相支部長の明田氏と同一職場でした。いろんな方にお世話になり感謝しています。石原健二(東京都目黒区) 『会報』100号発行おめでとうございました。私も在職中、『教養月報』の発行に係ったことがあるので、編集委員・関係者の皆様のご苦勞、拝察します。今後とも良い『会報』発行のため、ご活躍を。私は72歳になり、年相応にガタがきていますが、年金生活で何とか息をついている今日この頃です。市川忠勝(茅ヶ崎) 「長寿お祝い」をいただき、ありがとうございました。私事、平成23年12月6日、腰椎の圧迫骨折で、市立病院や徳洲会病院で診察検査を受けましたが、80歳を過ぎると骨粗しょう症でなくとも、骨がもろくなっているため、手術はできないとのこと。いまだ回復に至らず、痛み止めの薬で過ごしています。残念でなりません。皆様もお体を大切に。鎌田利治(相模原) 「長寿お祝い」をいただき、深く感謝いたします。88歳を迎え、自分の存在意義を考えざ

るをえません。世のため人のためには、戦前・戦中を生きてきた者として、「平和憲法」の実行を願って、私のできることをしたいと願っています。

佐藤榮一(静岡県富士宮市) 3月に腰椎を骨折し、不自由な生活を強いられました。家で寝ながら本と新聞を読むだけの毎日でした。6月に入り、ケガもほぼ完治し、以前続けていたジョギングを始めてみたところ、何と1分間でクタクタ。体力の低下は容赦なくきました。シヨックでしたが、次はもう少しと、少しずつ時間を伸ばし、記録更新中で、長いトンネルの先に薄明るい光が見えてきました。

鴨志田ひで(茅ヶ崎) 「長寿祝い」をいただき、びっくりしました。ありがとうございました。もう退職して24年になります。特別、生活上困ることもなく、家事をしています。年寄りですから、食生活は気を付けています。1日1200キロカロリ1位にして、肥りすぎることはありません。もう少し長生きします。野尻 輝(中井) 健康第一をモットーに頑張っています。5月16日からイタリア8日間の旅をしてきました。久々の海外の旅を家内とエンジョイしてきました。

明田剛一(横浜) 長寿祝い制度による記念品をいただきありがとうございました。『こだま会報』100号発行、ご苦労様でした。私も過ぎし日にお手伝いしたことを懐かしく思い出しました。これからも会員の友として発行されますようお願いいたします。

の友として発行されますようお願いいたします。

笹森 昭(小田原) 少年少女へ心身鍛錬に武道を勧めてみませんか。どなたでも出場できる全日本武道大会(於:日本武道館)等があります。合気道稽古道場・二宮0465-4312076笹森まで。

行谷愛子(三浦) 元気のつもりですが、時々感じる疲労は、歳相応になつてきたかと思っています。

矢澤 宏(横浜) 3月17日、大腿骨骨折で入院。5月16日、リハビリ病院へ転院し、リハビリを実施しています(息子代筆)。

船橋まさ子(横須賀) 『会報』100号記念号発刊おめでとうございます。またこのたび「長寿祝い」をいただき、誠にありがとうございます。入間川昭遠(横須賀) 『会報』100号記念号と「長寿祝い」、ありがとうございました。『会報』は毎回、なつかしく楽しく読んでいます。最近、老化による難聴が甚だしく、一人で人生を楽しんでいます。『会報』を読み、皆様元気で活動されていることを心強く思っています。

中村猪一郎(東京都千代田区) 「長寿祝い」、拝受いたしました。誠にありがとうございます。現在、大腸がん、肝臓がんの手術をした後、半年有余を経て、元気に回復に向かっております。86歳に相成りました。北岡 学(横浜) 体調不良で、家で静かに過ごしています。長寿祝いの記念品をありがとう。

山崎重夫(横須賀) 最近足が重くなって歩くのがきつい。特に駅の階段はとつてもきつい。それまでまっすぐ先に歩いているのに時々身体が左右に揺れる。歩道を走つてくる自転車にぶつかりそうになる。大角淑枝(藤沢) 私は薬膳料理を楽しんでいます。

今井 武(茅ヶ崎) 里山を歩く、巡るなどの企画をおねがいします。高橋和江(横浜) こだま句会での投句、がんばります。

加藤美代子(横須賀) 「長寿祝い」、ありがとうございます。最近娘と一緒に買い物などをして過ごしています。一人で遠くに行くこともなくなりました。

小川政則(相模原) 『こだま会報』身近な編集で感心しています。改憲、TPP反対など勉強して、少しでも役立ちたいと努力しています。笹原 勇(東京都大田区) 「長寿祝いのお祝い」、ありがたういただきました。下肢の状態が悪く、歩行困難な状況ですが、地域活動に励んでいます。

伊東 久(秦野) 何とか元気で。県みどり財団、秦野菩提里山を守る会、秦野市荒廃農地解消ボランティア等、近場では多少活動していますが、横浜は遠く感じるこの頃です。『会報』を楽しみにしています。碓井春江(海老名) このたびは思いがけぬ「長寿祝い」をいただき、ありがとうございました。右手足が少々不自由になり長年続けてきた

「書の会」も退会しました。姪が子どもたちの「習字教室」に、私の教室を使っていますので、賑やかにすごしています。

廣田 茂(秦野) 毎日のように、スポーツ(テニス・バドミントン・野球審判)で、快い汗を流しています。堤 正敏(横浜) 「長寿祝い」、ありがとうございます。現在、体調不良です。

千島ミツ子(厚木) 小浜明通寺にて、1988年に作ったものです。「原発」の明日も海は歌うやと若狭の僧の理知の声澄む／緑濃き八月の堂に置かれたる反核アピール署名して出す

「原発即時ゼロ」憲法改悪許さずのため、がんばっています。小出春三(平塚) 「長寿祝い」をいただき、ありがたう厚くお礼申し上げます。

家城レイ子(小田原) 「長寿祝い」をいただき、きめ細かなご配慮をありがとうございます。

手代木昭八(横須賀) 毎日、病人の介護で出かけることも大変で、好きでやっていた水墨画他もここ2、3年休んでいます。私は今のところ健康で、毎日を過ごしています。『会報』を読むのが楽しく、感謝申し上げます。

橋本マツ子(横浜) 「長寿祝い」、ありがとうございます。寄る年に勝てなくなりました。

阿部 将(平塚) 毎日頭の体操をしています。「長寿祝い」をいた

だき、ありがとうございます。

筒居玉枝(横浜) 「長寿祝い」をありがとうございます。今年手術をしましたので、ご招待いただきましてが欠席させていただきます。

井坂房子(横須賀) 退職して丸10年がたちましたが、元気に過ごしています。年金者組合のカラオケサークルの世話役をしたり、町内で踊りを習ったり、その他諸々の社会活動も。みんなには「動ける内がいんだよ」と言っています。九条の会も署名や学習会をやっていて、憲法が変わったら大変だと思っところでは遠出ができません。

宮本四郎(海老名) 「長寿祝い」、ありがとうございます。89歳。齢とともに足腰が不良ですが、朝夕30分歩いて頑張っています。

川瀬寿美江(相模原) 「長寿祝い」、嬉しくいただきました。一人では遠出ができません。

高木みどり(横浜) 『会報』100号おめでとうございます。三つの合唱団の練習と演奏会出演の合間に海外旅行、ご近所散歩の日々です。

6月22日はライブチャッヒでバツハ・フェスです。7年愛用のパソコンがダウン。買い替えましたが、パソコンでした(なくても不安。依存症状態を反省)。次回は乗り換えられるか、心配です。

田崎春生(横浜) 週2〜3日の仕事と趣味の釣り、月2回の樹林ポランテアなど、元気にしています。雨宮和雄(海老名) 私ども、今

春5月に金婚式になりました。退職後は、脳梗塞、心臓狭窄症、前立腺がん等の病気をしましたが、妻の看病で全快し、今はポランテアで「山仕事の会」や農園で野菜作りなどを元気にやっています。今回、同居している娘家族が結婚50年と記念旅行を企画し、プレゼントしてくれました。

総会の日と重なったのが残念です。作中 宏(横浜) 気がつけば私も高齢者になっていました。そこで近所の老人福祉センターのスタッフに仲間入りさせてもらいました。オレンジ色のエプロン姿も板についてきました。

飯尾八重子(平塚) 「長寿祝い」をいただき、ありがとうございます。榎本恵美子(二宮) 「長寿祝い」をいただき、ありがとうございます。82歳になりましたが、ちよっと体調をこわし、外出は無理な状態です。

菅野明雄(厚木) 草の根を這いまわって、何とか生きております。皆様、お元気に。

岩崎恒雄(川崎) 「長寿祝い」、ありがとうございます。いつの間にかこのような齢になり、くたびれておりますが、元氣ぶっています。

倉科隆充(横須賀) 身障の身体となり20年。このたびは「長寿祝い」をいただき、只々恐縮しております。お送りいただき『会報』を楽しみに読ませていただいております。

大島照治(茅ヶ崎) このたびは過分な「長寿祝い」をいただき、ありがとうございます。お礼申し上げます。

以前より体調をこわし、総会は失礼します。西村やす代(相模原) 「長寿祝い」、有り難うございました。声は元氣なのですが、足が少々弱くなりました。週1回の筋トレには行っています。

山田 豊(三浦) 「長寿祝い」、ありがとうございます。

柘澤 覚(相模原) グラウンド・ゴルフで地域の方と交流を深めて元氣に過ごしています。

矢部市太郎(横浜) 「長寿祝い」、ありがとうございます。今後とも元氣でいたいと思っております。現在、歩行困難なため総会は欠席します。

角田和巳(横須賀) このたびははからずも多大の「長寿祝い」をいただき、ありがとうございます。

小島信明(座間) 「長寿祝い」の心使い、まことにありがとうございます。私は81歳になり、体力も少しづつ衰えてきましたが、妻の介護で毎日元氣で頑張っています。

米山東伊(横須賀) アベノミクス3本の矢が、年金生活者に向けて放たれた。次の矢は消費税増税と年金の切り下げだ。矢の飛ぶ向きを変えないと大変だ。7月4日からの参議院選挙で矢の向きを変えよう。

鈴木英男(小田原) 「長寿祝い」のお品、ありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

前場喜六(海老名) 「長寿祝い」、ありがとうございます。日々、老妻介護しています。

守田トシ(横浜) 「長寿祝い」、まことにありがとうございます。萩原正夫(厚木) 「長寿祝い」、ありがとうございます。

吉澤靖夫(藤沢) 第3の人生スタート地点に立ちました。健康寿命をどれくらい伸ばせるか、そんな心境の日々です。

湯川 勉(二宮) 5年前に前立腺の進行が見つかり、余命5年〜10年と告知されたが、5年をクリアした。あと5年をめざして、そろそろ総括をと、やりたいことなどを一つまたひとつと消している。最後に残るものは何かわからないが、それを楽しみにしている。

山本秀実(長野県飯山市) 3月で退職しました。Iターンして、先祖が残してくれた土地を耕し、ゆったり毎日を過ごしています。北信州は遅い春の只中です。魚沼米に引けを取らない美味しいコシヒカリの植え付け準備に忙しい盛りです。農業体験希望の方はぜひ、一報を。お土産品はコシヒカリです。

金子 充(東京都品川区) 親の介護などで、毎日忙しくしています。

体調を崩しておられる次の方々、早く回復されますよう、お祈りしています。

今村幸美(横須賀) 竹下純則(南足柄) 太田良義一(小田原) 元木紀恵(静岡県熱海市) 歌川安子(相模原) 丸山衛一(大和)

(敬称略)

540413.indd 13



-37-

6月3日から1週間、神奈川県医労連主催のロシア旅行に参加しました。この

旅は、我がこだま会副代表幹事の植木眞理子さんを中心に18年前から各国の医療・社会保障も学ぶ研修旅行として始まりました。参加者は23人。

成田からモスクワを経由して、サンクトペテルブルグから夢の世界の始まりです。

ロシアは5月中旬から6月中旬位が一番日が長く(いわゆる白夜)、朝は4時半には陽がのぼります。日中はノースリーブの若者も多く、公園では上半身裸で日光浴をしている人がたくさんいました。驚いたのは、夕方8時過ぎ頃から子どもを連れてお母さんがたくさん公園に集まり、遊ばせていたことでした。

サンクトペテルブルグには、血の上の教会や聖イサク寺院、修道院、そして3百万点の展示物があり、「一日8時間観るとして、10年はかかる」と紹介されたエルミタージュ美術館などは、私の想像を超える歴史的で豪華な宮殿群と美術品で圧巻でした。

エルミタージュ美術館は、ロマノフ王朝の財宝と、世界から集められたコレクションであふれています。

た。レオナルド・ダ・ビンチやルノアール、ピカソ、セザンヌ、ゴッホなどなど、世界の有名な画家の絵が部屋別に展示されています。半日だけの見学でしたが、現地添乗員の説明で、大満足。

エカテリーナ宮殿は、全長310メートルのバロック調の宮殿で、今でも結婚式が行われているとのこと。全面が、高価な琥珀で造られ、まばゆい

幻想都市「ロシア」に魅せられて

並木まり子さん



聖ワシリー寺院にて

ばかりの琥珀の間、当時の食器が並べられたテーブル、そして、地震がないというので、壁の棚にも高価な花瓶がそのまま飾られていました。

ロシア民謡アンサンブルショーをニコライ宮殿で観て、夜行寝台メガポリス号に乗車し、モスクワに着きました。列車は枕木の音と揺れで、熟睡できず、時々、薄暗闇の異国の森や山村などを、夢うつつのなかで眺めました。

モスクワ市内の観光は、何と云っても「赤の広場」でしょう。クレムリン北東の城壁に面する長方形の広場で、長さは700メートルあり、中央にレーニンの像、南東の端にはロシアで最も華麗な聖ワシリー寺院(写真)があります。物語に描かれている素敵なお城そのもので、何回もシャッターを切っていました。

日程とお金(1席4万円?)の関係で観られませんが、ポリシヨイサーカスは観ることができました。すべて素晴らしいのですが、3頭の象が、長い鼻の上に美女を乗せ、演技する姿に魅了され、涙が出る思いでした。

エカテリーナ2世に、ファン(愛人)からプレゼントされた、全体がゴールドで8頭が必要という馬車、その大きさと美しく保存されていることは感激。乗られないけれど、シンデレラ気分でした。

し、モスクワの高齢者の実態を少し学ぶことができました。この施設は500人の高齢者と18歳以上の体の不自由な人が一緒に生活し、楽しく過ごされていました。定年が男性60歳、女性55歳で、定年を過ぎた人は希望すれば年金をある程度払うことで、誰もが入所できます。なぜならモスクワは住宅事情の問題で、マンション生活者が多く、老人も一緒に狭いので、政府が入所を推進する政策をとっているということでした。施設では、ダンス、スイミング、合唱などクラブ活動も活発、イベントも多いとのこと。

高齢者が大切にされている国であることは確かですが、冬が長く、マイナス10度Cからマイナス20度Cまでに気温が下がる生活。家からあまり出られず、カロリーと塩分が高い食事は必然と肥満となり、平均寿命は、15年前は男性57歳、女性60歳だったとのこと。現在は男性65歳、女性67歳までに改善されているそうです。

日本人のロシア旅行者はまだ少ないようですが、イギリス、ドイツ、フランスなどからは大変多くなっているようです。

今回、ロシアを旅して、芸術と歴史に触れ、幻想都市に魅せられてしまいました。みなさんもう一度、行ってみてください。

おすすめの二冊



今日から始める

現代川柳入門

ドラマチック川柳のすすめ

杉山昌善 著

「俳句は、勝ち組が吟じ、川柳は、負け組が詠むものである」と著者は言う。俳句は十七文字で詠みますが、現代川柳は十七音字で表現



有楽出版社刊・実業之日
本社発売 1500円+税

し、なかにドラマを盛り込みます。季語はありません。

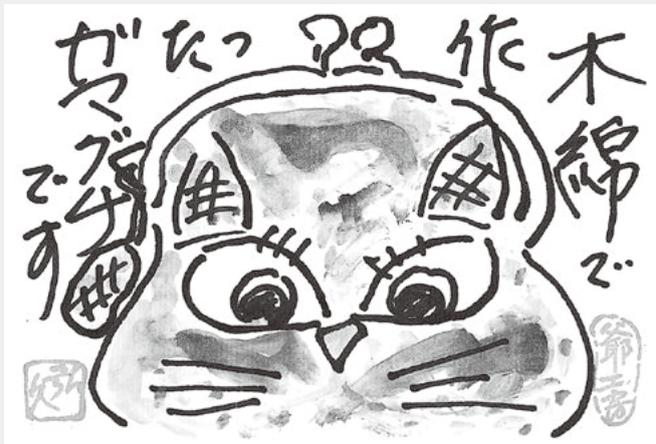
川柳誕生から約250年、今に受け継がれる要素が三つあります。

① 穿ち(うがち) : ゆうれいは皆俗名であられる

② 軽み(かろみ) : 涙なんかどどんビールで補充する

③ 笑い : 私はへのへのもへじ平和です

絵手紙



奥津弘久さんの作品

川柳にもいろいろなあつて、人情の機微を詠むもの、時事・時代を切り取るものほか、現代川柳は、五・七・五の自画像・素材を自分自身に捉えているものです。気軽に、楽しんで川柳を詠む、取っ付き易い入門書といえます。2011年5月刊。

(木村武子)

タケちゃんの料理教室④

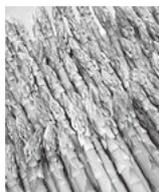
アスパラガスのきんぴら

〔材料〕

- アスパラガス : 6本 / 唐辛子 : 1本 / サラダ油 : 小さじ1 / 糸がとお : 適量
- ① 酒 : 小さじ1 / 砂糖 : 小さじ1 / 醤油 : 小さじ1

〔作り方〕

- ① アスパラガスは熱湯にサッと通し、色出しをして冷水に取り、色止めをする。
- ② 3〜4ミリの厚さの斜め切りにする。唐辛子は小口切りにして種を取り除く。
- ③ フライパンを熱して、サラダ油を



馴染ませたら、アスパラと唐辛子の小口切りを炒める。

④ ①を加えて、汁気がなくなるまで炒め、火から外したら糸がとおを入れて、混ぜ合わせて仕上げる。

(飯塚武弘)

手づくり文化祭のご案内

— 神奈川自治労連退職者会主催 —

絵画・写真・絵手紙・陶芸・俳句・短歌・出し物(合唱・フラダンス等々)、気軽にご応募を

とき : 10月26日(土) 10時~15時
ところ : 横浜市従会館 (JR桜木町駅下車)
申込締切 : 10月15日(火) までに「こだま会」事務所へ(搬入も)
申込先 : こだま会事務所 045 (212) 3179

予告!! 予告!! 予告!!

- 俳句サークル「こだま句会」
月例句会 (毎月第2木曜日13時~)
9月12日 10月10日
ところ 県庁本庁舎6階共用会議室
指導 太田土男先生 (俳人協会)
会費 800円
申込先 こだま会事務所045(212)3179
または井村友彦0463(81)4493
- 囲碁同好会
月例会 (毎月第1日曜日12時から)
場所 「囲碁サロン」JR藤沢市南口そば
申込先 こだま会事務所045(212)3179
- 楽しい料理教室
(秋で~す。きのこの季節)
とき 10月5日(土) 11時~
ところ 「男女共同参画センター南横浜」生活工房(京急南太田駅下車3分)
講師 飯塚武弘さん
会費 2000円
申込先 こだま会事務所045(212)3179
または飯塚武弘0462(42)2224

こだま俳壇(7月)

噴水をくぐる子ども声高し 松尾佐知子
 走り終え梅干ご飯頬張る子 松本 正治
 おたまじゃくし捕る子ら皆腹這いで 柳瀬 節子
 人工の腰骨あわれ卒寿夏 中村 桂子
 矢峽間のひとつひとつに夏の海 田中 一男
 手つかずの梅酒の瓶が並びおり 島田多嘉子
 新じゃがや老いても陽気わが姉妹 小川 水草
 しんどいな八十路の坂を百合の花 鈴木志げ子
 何とまあ千キロの旅夏の蝶 鳥海 敏雄
 幾とせを閉じて琥珀の梅酒かな 三井 光子
 梔子や詠えしオカリナ届く 木村 武子
 片陰をたどりたどりつ買物に 横川美代子
 灼熱を吸い取るごとく薔薇真紅 白井保次郎
 紅花のひとつつから咲く半夏生 坂 守
 青虫が糸を手操りて波を見る 井村 友彦
 赤富士と三保の松原女将泣く 高橋 和江
 土用入り上り框に蝮酒 太田 士男

食文化を楽しむ会

夏ばて予防の薬膳料理に挑戦

横浜市西区公会堂で7月25日(木)11時から15時まで、食文化を楽しむ会が開かれました。テーマは「夏ばて予防の薬膳料理」で、調理指導をしていただいたのは、会員の亀井禎子さん。参加者は4人。



西区公会堂で開かれた料理教室

気象庁は「梅雨が明けた」と言っていますが、空は曇天と湿気でよんだような暑さのなか、夏ばて予防の薬膳料理教室の始まりです。

◎超豪華メニューに挑戦

献立は、次の六つの豪華メニューです。

①玉蜀黍と枝豆入りご飯。

②豚ひれ肉のから揚げ。

③冬瓜と浅利、白きくらげのスープ。

④豆腐、おくらの茸和え。

⑤二色パプリカとアスパラガスの味噌マヨネーズソースがけ。

⑥西瓜のサイダーゼリー。

* * *

「冬瓜と浅利、白きくらげのスープ」は、大どんぶりに盛り付けるほどのボリュームです。



これで夏ばてもバッチリ

「二色パプリカとアスパラガスの味噌マヨネーズソースがけ」は、彩りの美しさが見事。

「西瓜のサイダーゼリー」は、できあがりの意外性にビックリ。

それぞれで素晴らしいできばえに、満腹しました。

* * *

食事をしながら、懐かしい思い出や、年金・医療・介護の問題、そろそろ考えなければいけない自身の老

い支度などに話題が広がりました。(鳥居伸太郎)

編集 後記

早い梅雨明けの後は猛暑の連続、そして各地で続く豪雨災害。自然が猛威をふるっています。皆さん、お元気ですか▼昨年の今頃は、自身を「ドジョウ」と称した野田内閣。今年は、7月の参院選を「アベノミクス」で圧勝した安倍内閣。「これでねじれも解消し、3年間選挙もない。いざ、公約実現へまっしぐら」▼しかし「憲法改正」も「原発」も「消費税増税」も「TPP」も「社会保障」も、国民との「ねじれ」は解消されぬまま▼まして憲法を「改正」し、戦前の「日本をとりもどす」ことになったら取り返しがつかないことにならないか。「96条・9条改悪反対」の国民大運動へ、老人パワーを集めましょう。(と)

会報No.101
2013. 8. 15

編集・発行 神奈川県職労連退職者こだま会
発行人 加瀬 文隆

〒231-8588 横浜市中区日本大通り1
県庁本庁舎6階

TEL 045-212-3179 (代表)
FAX 045-212-3178 (代表)
URL http://kodamakai.sakura.ne.jp/

Eメールアドレス kodama@kensyokuro.ne.jp